

2019 年度 (平成 31 年度) 学校評価自己評価表

済美 中学校区	校番 18	福山市立 瀬戸小 学校
最終更新日		2020年(令和2年)2月25日

I 福山市	<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&amp;倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
-------	---

II 中学校区	<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>○かかわり合いを大切にしながら、子ども同士がつながる教育活動の推進。 ○地域のボランティア活動などを通して、自己肯定感を高め、地域貢献できる人材の育成。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○基礎的・基本的な学力はおおむね定着しているが、それらを活用した思考力や表現力、またねばり強く問題に取り組む姿勢には課題がある。 ○校区一体となったあいさつや無言清掃等の取組を通して、児童生徒の集団への意識が高まっている。また集団を牽引するリーダーも育ってきている。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>○ 課題発見・解決力 ○ コミュニケーション力 ○ 他者とかかわり合う力・心</p> <p>めざす子ども像</p> <p>① 自らの目標に向かって努力し、チャレンジしている。 ② 場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③ 多様な他者とかかわり合いながら共感的人間関係をきずき、共によりよく生きようとしている。</p> <p>中学校区として統一した取組等</p> <p>○社会に開かれた教育課程「校区カリキュラムマップ」の実現 ○「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会、生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成</p>
---------	--	---	---

III 自校	<p>子ども主体の活動・学びを通して</p> <p>ミッション</p> <p>課題発見・解決力、コミュニケーション力、他者とかかわり合う力・心の育成 ～自己有用感・肯定感(人とかかわり合うことは楽しい・誰かの役に立ちたい・自分のよさは周りの人たちから認められている 等)を、育みながら～</p> <p>学校教育目標</p> <p>自ら考え学び、貢献する子どもの育成</p> <p>現状</p> <p>〈児童生徒〉 ①日々の無言そうじや、運動会での表現・応援活動など、6年生を中心とした異年齢集団活動が定着・活性化しているが、児童会・委員会・学級活動等の連動による「子ども主体の活動→学び」を、活性化・見える化・評価することに課題がある。 ②全国・県平均との数値比較から、体力(特に、持久力=シャトルラン)、学力(基礎的知識、考え方等)ともに課題がある。 ③担任等の粘り強い取組により改善傾向の児童も見受けられるが、欠席等が続き、学校での学びが十分でない児童が少なからずいる。</p> <p>〈授業〉 ①「児童自らが問いを持つ・話し合う」等、「子ども主体の学び」が進みつつある教科・単元・学習集団が、前年度後半に見受けられた。 ②「ふり返り」の目的・内容・方法を児童と確かめ合い、評価・交流を行うことで、次の学びへの意欲・見通しをもたせたり、「学び方」を学んだりすることに課題がある。 ③自分の考え等をつぶやく姿・場面はあるが、他者の考え等をしっかり聴き、自分の考えを広げ・深めたり、練り合いながらまとめたりする単元構成・授業展開に課題がある。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>○課題発見・解決力 (問いを持つ ふり返る 見通す) ○コミュニケーション力 (聴く 伝える まとめる) ○他者とかかわり合う力・心 (思いやり 社会性 貢献)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">めざす子ども像 枠内は、当該学年のB規準 ↓ A ↓ S ↓ V S</td> <td>小学校 1・2年</td> <td>「なぜ・どうして・どうすれば?」「こうしたい!」という問いや思い・考えをもち、ことばにすることができる。</td> <td>自分の周りの人の考えを(自線を含わせて、うなずきながら)最後まで聴く(「へえ～・ほお～・ふ～ん、なるほど・すごいね!」等)ことができる。</td> <td>自分の周りの人の思いやそう思う理由に耳を傾け、寄り添ったり(「そうか・そうなんだね」「大丈夫?」)励ましたり(「いっしょにしよう!」)しようとする。</td> </tr> <tr> <td>3・4年</td> <td>「なぜ・どうして・どうすれば?」「こうすれば・こうしよう」という問いや思い・考え(その理由)をことばにしながら学び、ふり返ることができる。</td> <td>相手の考えを、自分の考えと比べたり関連付けたりしながら聴き、整理し直して(主・述語、結論⇒根拠を明確に)はっきり伝えることができる。</td> <td>相手の立場(状況)やその時の思いを自分に置き換えて想像し、共通・相違点を見出しながら、(折り合いをつけて)歩み寄り、助け合ったりしようとする。</td> </tr> <tr> <td>5・6年</td> <td>学んで気付いた・考えたことなどをふり返り、次の(新たな)目標や課題を見出しながら、次の学びにつなげていくことができる。</td> <td>自分の考えを、多様な他者に分かりやすく(例え話の挿入、図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方や声のボリューム・トーンの工夫など)伝え、理解・納得を得ることができる。</td> <td>多様な他者とかかわり合い、それぞれの良さを見出しちがいを受け入れながら、支え合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとする。</td> </tr> <tr> <td>中学校 1年</td> <td>学んで気付いた・考えたことやその意味・価値・つながり等をふり返り、見出した次の(新たな)目標や課題を、見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)解決・達成していくことができる。</td> <td>自分の考えを、多様な他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得等を繰り返し、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりすることができる。</td> <td>集団(地域、学校・学年・学級等)活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者よりよくかかわりながら、責任を果たしたり、誰かの役に立とうとしたりする。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>津之郷・赤坂・瀬戸小そして済美中で、9年間この仲間たち、そして先生方と一緒に学び合えて本当に良かった。ありがとう。さあ、これからも…「挑戦・笑顔」</p> <p>研究 教科等 理科・図画工作科</p> <p>研究 主題・内容等 「自ら問いや考えを持ち、伝え合い・聴き合いながら、最後までやりぬく 児童の育成」 ～実感を伴う学びの場の設定を通して～</p> <p>めざす授業の姿</p> <p>○子どもも先生も「なぜ・どうして・面白い!」と、つぶやく合い・聴き合い・学び合う授業 ○「ふり返り」等を通して、「(教科・領域等固有の)見方・考え方」「学び方」を、学ぶ授業 ○その学年の習得内容＝生きて働く「知識・技能、思考・判断・表現力、体力」が、身に付く授業(家庭学習)</p>	めざす子ども像 枠内は、当該学年のB規準 ↓ A ↓ S ↓ V S	小学校 1・2年	「なぜ・どうして・どうすれば?」「こうしたい!」という問いや思い・考えをもち、ことばにすることができる。	自分の周りの人の考えを(自線を含わせて、うなずきながら)最後まで聴く(「へえ～・ほお～・ふ～ん、なるほど・すごいね!」等)ことができる。	自分の周りの人の思いやそう思う理由に耳を傾け、寄り添ったり(「そうか・そうなんだね」「大丈夫?」)励ましたり(「いっしょにしよう!」)しようとする。	3・4年	「なぜ・どうして・どうすれば?」「こうすれば・こうしよう」という問いや思い・考え(その理由)をことばにしながら学び、ふり返ることができる。	相手の考えを、自分の考えと比べたり関連付けたりしながら聴き、整理し直して(主・述語、結論⇒根拠を明確に)はっきり伝えることができる。	相手の立場(状況)やその時の思いを自分に置き換えて想像し、共通・相違点を見出しながら、(折り合いをつけて)歩み寄り、助け合ったりしようとする。	5・6年	学んで気付いた・考えたことなどをふり返り、次の(新たな)目標や課題を見出しながら、次の学びにつなげていくことができる。	自分の考えを、多様な他者に分かりやすく(例え話の挿入、図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方や声のボリューム・トーンの工夫など)伝え、理解・納得を得ることができる。	多様な他者とかかわり合い、それぞれの良さを見出しちがいを受け入れながら、支え合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとする。	中学校 1年	学んで気付いた・考えたことやその意味・価値・つながり等をふり返り、見出した次の(新たな)目標や課題を、見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)解決・達成していくことができる。	自分の考えを、多様な他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得等を繰り返し、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりすることができる。	集団(地域、学校・学年・学級等)活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者よりよくかかわりながら、責任を果たしたり、誰かの役に立とうとしたりする。	2年				3年			
めざす子ども像 枠内は、当該学年のB規準 ↓ A ↓ S ↓ V S	小学校 1・2年	「なぜ・どうして・どうすれば?」「こうしたい!」という問いや思い・考えをもち、ことばにすることができる。		自分の周りの人の考えを(自線を含わせて、うなずきながら)最後まで聴く(「へえ～・ほお～・ふ～ん、なるほど・すごいね!」等)ことができる。	自分の周りの人の思いやそう思う理由に耳を傾け、寄り添ったり(「そうか・そうなんだね」「大丈夫?」)励ましたり(「いっしょにしよう!」)しようとする。																						
	3・4年	「なぜ・どうして・どうすれば?」「こうすれば・こうしよう」という問いや思い・考え(その理由)をことばにしながら学び、ふり返ることができる。		相手の考えを、自分の考えと比べたり関連付けたりしながら聴き、整理し直して(主・述語、結論⇒根拠を明確に)はっきり伝えることができる。	相手の立場(状況)やその時の思いを自分に置き換えて想像し、共通・相違点を見出しながら、(折り合いをつけて)歩み寄り、助け合ったりしようとする。																						
	5・6年	学んで気付いた・考えたことなどをふり返り、次の(新たな)目標や課題を見出しながら、次の学びにつなげていくことができる。		自分の考えを、多様な他者に分かりやすく(例え話の挿入、図表や絵・写真・ホワイトボードの活用、話し方や声のボリューム・トーンの工夫など)伝え、理解・納得を得ることができる。	多様な他者とかかわり合い、それぞれの良さを見出しちがいを受け入れながら、支え合ったり、(競い合い)高め合ったりしようとする。																						
	中学校 1年	学んで気付いた・考えたことやその意味・価値・つながり等をふり返り、見出した次の(新たな)目標や課題を、見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)解決・達成していくことができる。		自分の考えを、多様な他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得等を繰り返し、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりすることができる。	集団(地域、学校・学年・学級等)活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者よりよくかかわりながら、責任を果たしたり、誰かの役に立とうとしたりする。																						
	2年																										
	3年																										

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 瀬戸小 学校

Table with columns for Year (年目), Mid-term Management Targets (中期経営目標), Key Points (重点), Categories (分類), Short-term Management Targets (短期経営目標), Target Achievement Measures (目標達成に向けた取組), Evaluation Indicators (評価指標), Intermediate Evaluation (10月1日), and Final Evaluation (2月末). Rows include 'Lesson Discovery & Problem Solving', 'Rich Heart Cultivation', 'Body Development', and 'School Building Advancement'.

【プロセス評価の評価基準】

Table with 2 columns: Evaluation Points (評点) and Evaluation Standards (評価基準). Rows range from 5 (excellent) to 1 (poor).

【達成評価の評価基準】

Table with 2 columns: Evaluation Points (評点) and Evaluation Standards (評価基準). Rows range from 5 (excellent) to 1 (poor).

【総合評価の評価基準】

Table with 2 columns: Evaluation Points (評点) and Evaluation Standards (評価基準). Rows range from 5 (excellent) to 1 (poor).